



絆

教育目標「気概にあふれ主体的に考え行動する生徒」

～小さな学校の大きな誇り～

花巻市立湯口中学校

校報 No. 8

令和7年5月16日

文責：校長（菊池）

体育祭で得たことを日常生活で本物に

総合優勝：白組団

準優勝：紅組団

競技賞：紅組団 白組団 応援賞：白組団 マスコット賞：紅組団 団結ポイント：白組団

何度かの延期もありましたが、待ったかいがあつての絶好の天候のもと、大勢の保護者、家族、地域の方々に見守られながら、体育祭が開催されました。

接戦の末の結果となりましたが、これまでの3年生を中心とした取り組みは、獲得した賞以上に価値あるものでした。伝統をつなぎ、新たな伝統を加えた素晴らしい体育祭でした。

これからの湯口中生の躍進に期待大です。



《印象に残ったこと（b y校長）》

- ・リレーのバトンパスが全員上手だったこと。私のこれまで経験の中で1番。まさに練習の成果。
- ・開会式の入場の練習。模範を示されると、すぐにその通りにできる対応力の高さ。
- ・3年生一人一人が1・2年生に応援ダンスやソーランを指導する姿。苦手とか関係なく、1人1人が責任もった指導。
- ・言葉は悪いですが、バカを演じる盛り上げ役がいたこと。集団の中で大切な存在。
- ・自分で判断して行動していた各系の動き。競技・演技と同様に体育祭を支えた。
- ・運動が苦手な人も、精一杯競技に取り組む姿、それを支える周囲の仲間。

《Good Winner（良き勝者）とGood Looser（良き敗者）だった姿（b y校長）》

- ・何度かのリレーの練習。そのたび、青チームが離されてアンカーに渡ったが、最後まで全力で走り切っていた。Good Looser。
- ・1学年種目、紅組がゴール後、白組を「がんばれ」と応援。Good Winner。
- ・各競技の結果発表、勝ち負け関係なく拍手をしている。Good Winner、Good Looser。
- ・閉会式、総合の部の成績発表。優勝の白組の控えめな喜び。Good Winner。準優勝の紅組、悔しさもありながらも笑顔の人も。Good Looser。
- ・閉会式、両組団長のあいさつ。勝ち負けを超えて得た感動のコメント。Good Winner、Good Looser。



《体育祭をふり返って》

今日、5月13日に湯口中学校体育祭がありました。体育祭をやってみての感想は、紅組団は負けてしまったけど、それぞれの競技に真剣に取り組み、係の仕事、応援、ダンスも最後まで全力でやり切れてよかったし、楽しかったです。

体育祭を通して私が学んだことは、チーム全体をまとめることの大変さです。自分はリーダーとして取り組んでないけど、3年生の先輩たちを見ると、指示をしてもすぐに動かない人がいたり、指示をしていないことをしている人がいたりして、大変そうだなと思いました。でも、みんなことをしっかりまとめてやりきる先輩がすごいし、かっこいいと思いました。

私は、この体育祭で学んだことを通して、2年生になったら、3年生が進行しやすいように、私語や勝手な行動をせず、3年生を支え、1年生の手本になれるようにしたいです。3年生になったら、今の3年生のように話を聞かなかったり、指示で動いてくれなかったりしても、しっかりとみんなをまとめ、引っ張っていけるような3年生になりたいです。

3年生から学んだ、団結することの大切さを日常生活に生かしていきたいです。3年生の皆さん、ありがとうございました。

【1A久保田望心さん】



今年の体育祭は昨年よりもずっと内容が濃く、たくさんのことを感じた1日になりました。中学2年生としての体育祭は、ただ競技を楽しむだけでなく、学年種目や全校での種目にもしっかりと取り組むことが求められました。

2年生の学年種目は「8の字跳び」でした。全員でリズムを合わせて跳ぶことがとても難しく、何度も練習を重ねました。本番では緊張もあり、うまくいったところがあれば、失敗してしまった場面もありました。中には、跳んでいる途中で転んでしまい、その後の競技に出られなくなった人もいて、とても心配でした。それでも、その人の分まで頑張ろうという気持ちが紅組の中に自然と広がり、みんなで励まし合えたことがとても印象に残っています。

全校で行った長縄跳びやリレーでは、学年やクラスを超えて声をかけ合い、応援し合う空気がありました。特にリレーでは、みんなが最後まであきらめずに走り抜く姿がとてもかっこよくて、応援しながら胸が熱くなりました。

私は紅組でしたが、今年も白組に負けてしまいました。結果を聞いたとき、正直とても悔しかったです。でも、紅組団長の話を聞いて、その気持ちが少し変わりました。私は勝ち負けよりも、全力で取り組んだことが何より大切だし、この体育祭で得た仲間との絆は、結果以上の宝物だという思いを感じました。確かに、練習の時間も本番も、紅組として力を合わせたことは本当にかけがえのない経験だったと感じています。この体育祭で得た「仲間と支え合うこと」「全力で取り組むこと」「悔しさを前向きな力に変えること」は、これからの学校生活やもっと先の未来にもきっと役に立つと思います。来年は、最上級生として参加することになるので、今回の経験を生かして、後輩たちの手本になるような姿を見せたいです。

【2A照井藍琉さん】



私はこの体育祭で、何事も準備や声かけが大事ということを改めて実感しました。

2月くらいから始めた3年生だけの取り組みでは、分からないこと、意見が分かれること、なかなか決まらないことなど、たくさんの不安がありましたが、組団ごとに何度も打ち合わせをし、協力して準備ができたので良かったです。これを昨年まで3年生がやっていたかと思うと、とてもすごいと思いました。執行部でも、本番が近くなるにつれて、集会が多くなり、忙しい毎日でした。しかし、これらの準備があったおかげで成功できたと思います。

組団練習では、1年生のダンス、特にソーランの覚えが早くとても助かりました。練習を重ねるにつれて声も大きくなり、組団の団結力も上がってきていると思いました。そして何よりも、移動や整列のかけ声、事前のリーダーたちの打ち合わせなどの点数にならない部分がとても大事だと思いました。

本番では、悪天候で開催までが長引いたにも関わらず、準備してくださった先生方、応援に来てくださった保護者や地域の皆さんに感謝する気持ちで行えたと思います。そして何よりも、今までやってきたことを笑顔で、全力でやれたことがとてもうれしかったです。中学校最後の体育祭をこのメンバーでできて良かったです。

体育祭で学んだことを今後の生活で生かせるように、これからも一つ一つのことに全力で取り組んでいきたいです。

【3A佐々木奏さん】

